

1－6 1994年北海道東方沖地震（M8.1）の余震活動（1994年10月～1996年10月）
The Hokkaido-Toho-Oki Earthquake, 1994（M8.1）-Aftershock sequence
（October, 1994-October, 1996）

札幌管区気象台

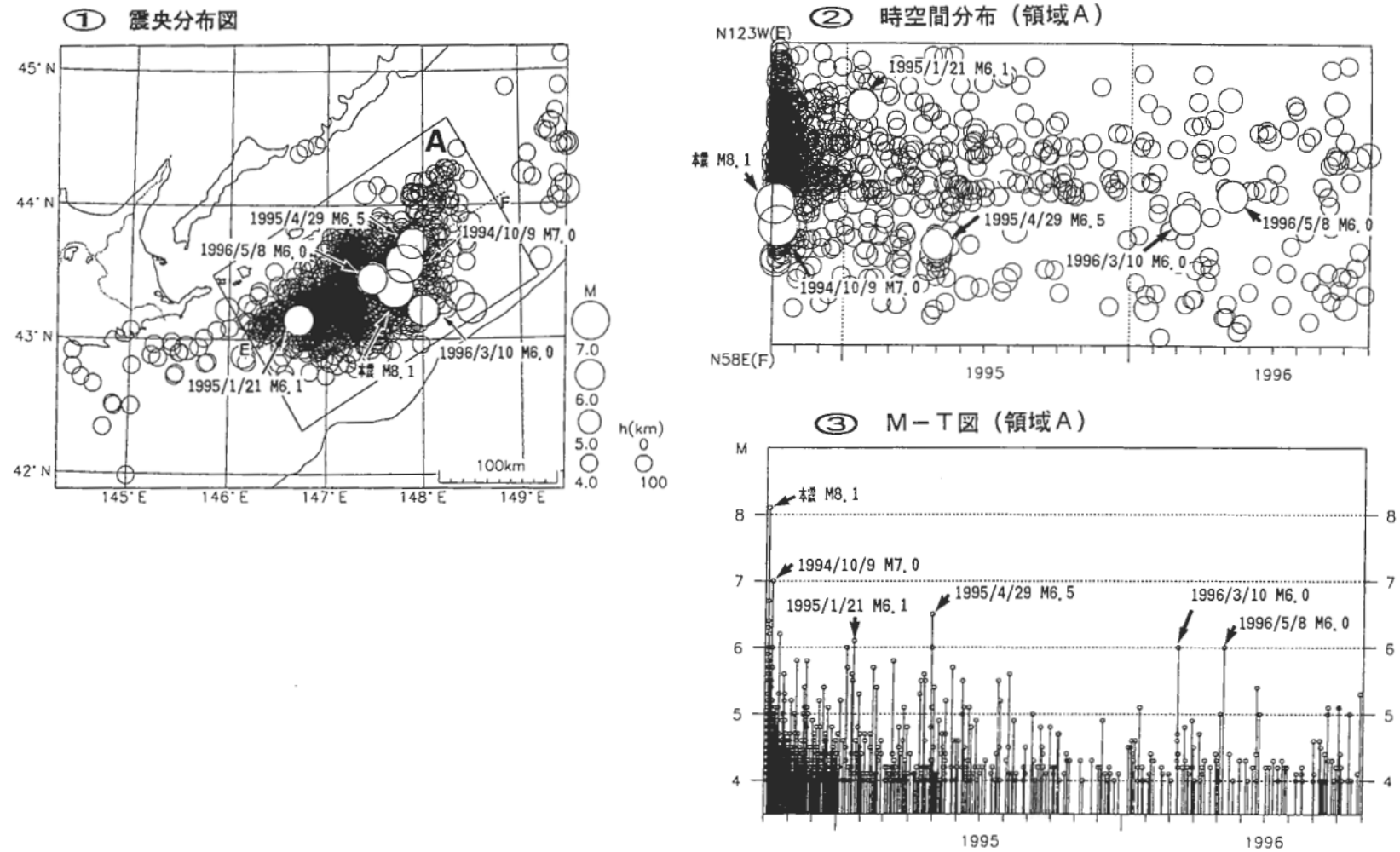
Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1994年北海道東方沖地震の余震活動について、1994年10月から1996年10月までの約2年間の状況を第1図に示す。これによると本震直後から活発な余震活動が続き、10月9日にはM7.0の最大余震が発生した。その後4月まではM6クラスの余震が度々起きていたが、5月以降は発生回数、地震の規模ともに順調に減少した。1996年に入って3月10日に約10ヶ月ぶりにM6.0の余震が発生し、次いで5月8日にもM6.0の余震が発生した。しかしこれらの活動は長続きせず、次第に活動は低下している。

参 考 文 献

- 1) 札幌管区気象台：1994年北海道東方沖地震（M8.1）の余震活動，連絡会報，**54**（1995），22-23.
- 2) 札幌管区気象台：1994年北海道東方沖地震（M8.1）の余震活動，連絡会報，**55**（1996），23-24.

北海道東方沖地震の余震活動状況 (1994年10月~1996年10月 $h \leq 100 \text{ km}$)



第1図 1994年北海道東方沖地震 (M8.1) の余震活動 (1994年10月~1996年10月 $M \geq 4.0$, $h \leq 100 \text{ km}$): ①震央分布 ②時空間分布 ③M-T図

Fig. 1 The Hokkaido-Toho-Oki Earthquake, 1994 (M8.1) -Aftershock sequence (October, 1994-October, 1996, $M \geq 4.0$, $h \leq 100 \text{ km}$)

:① epicentral distribution, ② space-time distribution, ③ magnitude-time diagram.